http://www.minamih.net/



由井三小も私が勤務している学校も5月28日が 運動会です。5月28日は練習も試合もありません。 さて、運動会の練習等で何かと落ち着かず、忙しい 中、学習もしっかり取り組まなくてはなりません。 今年は3年生の算数, 4年生の理科、1年生と6年 生の図書を担当していますが、 実感するのは "文を文として読む力"

"文を速く正確に書き写す力"

"話す人の目を見て、心と耳で聴く"

が基本中の基本として必要だということです。

上の2つは、音読と全文視写で力がつきます。聴く $5 \cdot 15 (H)$ 力は、お家の人がお子さんの目をしっかり見て共感的 NO13 ▶にお話しを聴いてあげることで培われます。

> 最初が肝心です。 b v 矢上

第5回 春季カップ戦 5月3日 高嶺小

○南八王子1-7東八王子 前半0-3 得点 小松君

○ちーむのめあて

①全員攻撃・全員守備

②ドリブルからのフェイント

③シュート以外はボールを蹴らない

○めあての達成度

全員攻撃・全員守備、ドリブル日徹底は全員意識を持って試合をしていました。



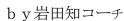




○コーチ所見

を使ってくる試合運びでしたので、相手がパスをす る前のボールへの寄りができればと感じました。し かし、南の子どもたちの全員攻撃・全員守備に徹 し、GAMBAる姿は、私達コーチ・応援のお家の 「みなさんに感動的にしっかりと伝わってきました。

試合後に、"試合で負けて悔しい顔とこの試合を 全力で戦いきったという顔"、この2つの顔を見て、 これからこの子ども達はどんどん上達して強くなっ ていくと感じました。









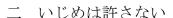
里山でしいたけを作る時、村人は原木にするクヌギを順々に切っていくそうで す。やがて季節がめぐると切り倒されたクヌギの株から若々しい芽・ひこばえが 出て再び成長します。クヌギは切り倒されても根っこはしっかりと生きているの

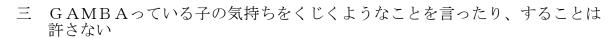
人にも根はあります。何度踏み倒されてもやがて芽を出し成長する根っこがあ るのです。その根っこを丈夫に育てるところはまず家庭です。家庭が、子どもを 社会的な存在として躾る社会化の機能、安心感・自己有用感・自尊の感情を育む 癒しと安定化の機能を果たすことにより、人として育つための根っこが元気で丈 夫なものになるのです。他を思いやる優しさとやらなければいけないことをやり ぬく強さを育み社会的な自立を促すのです。

b v 南のアンパンマン

四つの絶対許さない!!

暴力は許さない





四 授業の邪魔をすることは許さない

退職後、あってはならない状況にある学級の臨時担任を突然依頼され、クラス の子どもの前に立ったときに開口一番、宣言したものです。この宣言、四つの絶 対許さないは、永年の担任時代、子どもたちに言い続けてきたものです。

南の子どもたちに対しても同じです。サッカーを楽しむ中で、仲間の大切さ、 仲間を思いやることの大切さ、協力してGAMBAることの大切さ、ルールを守 ることの大切さを学んでいるはずです。それを学校生活に活かしてほしいと心か ら願っています。四つのうち一つでもしている子はいないと信じたいのです。

優しく強い子であってほしいと願っています。自分の利益しか考えない人間に はなってほしくないですよね。

今の世相が教えてくれています。他を思いやる優しさ、生きとし生けるもの全 てとの共生なくしては人類の未来はない、一人勝ちということはありえないと。 b v 南のアンパンマン

漢字部首歌留多

漢字が書けない、読めないと、文を書いたり読んだりができず、コミュニケー ションもできなくなります。読書もできません。本嫌い、低学力になりがちです。 そこで、子ども達に少しでも漢字に慣れ親しんでもらいたいと考え、漢字部首 歌留多をみんなに配ります。90の漢字の部首が遊びながら覚えられるようにで きています。歌留多の取り札も後になりますが配布します。ぜひお家でもみんな で歌留多を楽しんでみてください。

合宿とか納め会で学年別歌留多大会をして、入賞者には何かをプレゼントする ということも考えています。

漢字学習を嫌う子が多いのですが、漢字辞典作りもあわせて取り組めば、漢字 をより楽しく学び、漢字力をしっかりと自分のものにすることができます。

